

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域で暮らす会	代表者	井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	いくのさん家の基本理念「関係性こそ、その人らしさ どう生きたいか、に立ち返る ひとりの支援は、地域を変える」に沿って、住み慣れた自宅や地域での生活が安心して継続出来るよう支援している。事業所が小さく、とても家庭的な雰囲気の中で、ご利用者様ひとりひとりに楽しんで頂けるよう心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホーム 吉方温泉いくのさん 家	管理者	高田 梢		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	2人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	〇〇様ノート（趣味嗜好、生活歴などのみ記入）の作成。	ノート作成自体が出来ていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの事業所も同じように、情報収集や共有は課題です。</li> <li>情報を集める意識は感じるのですが、どう共有できるかが課題のように感じます。</li> </ul>	月2回のミーティングを目標に、職員間の情報共有の機会を増やす。
B. 事業所のしつらえ・環境	事務所内などの煩雑な部分を整理、スペース確保に努める。	以前よりも片付いてはきたが、まだまだ、煩雑な部分が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭いことで家庭的な雰囲気だなど、プラスの面を感じていました。</li> <li>皆が使う場所だから、職員だけでなく、皆が片付けないと。</li> </ul>	棚の整理がしやすいよう、物を置く場所のシールを貼る。
C. 事業所と地域のかかわり	業務分担に「地域担当」を作る。地域行事などの外出計画を担当する。	「地域担当」は作っていなかったが、地域行事への参加、外出など、少しずつ外へ出る機会が増えた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>たしかに、地域行事で見かけることは増えました。</li> </ul>	業務分担に「地域担当」を作る。地域行事などの外出計画を担当する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	エコマップを作成し、全員が共有できるように工夫する。	エコマップの作成が出来なかった。		「わたしのくらしまとめシート」を各個人の記録ファイルに挟み、職員が目につくようにする。また、気付いたことがあれば赤ペンで追記していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>服薬のチェック表を作成。全員の目で、漏れがないよう徹底する。</li> <li>事故等の際は外部にも意見を求め、より良い対応ができるよう心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>服薬のチェック表を作成、全員で服薬事故防止のため取り組んでいる。</li> <li>事故後の対応では、出た意見を参考にしながら、再発防止に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>服薬事故は減った。</li> <li>この会議で防災の事を話すこと、消火器訓練なんかも、してみてもどうか。</li> </ul>	事業所として、消火器訓練の実施。準備や地区への案内、振り返りを運営推進会議で行う。

F. 事業所の 防災・災害対策	地域行事への参加を通して、まず事業所を知ってもらうよう努力する。	数回、少人数ではあったが、行事参加することが出来た。	・町内の避難訓練は9月の年1回です。 ・訓練だけでなく、防災計画の徹底も大事ですよ。	9月、地区の避難訓練に参加する。
--------------------	----------------------------------	----------------------------	---	------------------